



森ボラ 通信

第203号 2019年4月20日発行

NPO法人 **北海道森林ボランティア協会**

URL <https://www.shinrin-npo.info/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目8-8ラルズ生活研究センター

TEL (fax): (011) 816 - 7010

E-mail: hshinrin2002@nifty.com

★ 第17期定期総会開催のお知らせ ★

第17期定期総会を下記の通り開催します。

日時：2019年5月9日（木）15：30～16：30

会場：札幌エルプラザ2F環境研修室1,2（札幌市北区北8条西3丁目）

議案：第一号議案 2018年度事業報告、決算報告、監査報告承認の件

第二号議案 2019年度事業計画、予算計画承認の件

第三号議案 「森ボラ協議会」に係る件

2018年度事業報告、決算報告・2019年度事業計画・予算計画

第四号議案 理事及び監事選任の件

その他

※ご都合で出席できない会員は事前に事務局あてに委任状の提出をお願いします。

※総会に先立って第1回理事会を開催します。（15:00～15:30）

★ 幹事会の体制が新しくなりました ★

酒井和彦さんの代表幹事退任を受けて4月から幹事会の体制が新しくなりました。新体制のスローガンは『明るく、楽しく、健康に』とします。今まで同様に皆様のご協力をお願いします。

代表幹事：樞棒 典夫、

副代表幹事：清澤 通俊、事務局長：市山 勝一郎、スタッフ補佐：大窪 健一

◆酒井前代表幹事の退任挨拶

もう17年前になりますか、国のボランティア（JICA）から帰国と同時に森ボラに入会し代表幹事を務めてきました。3月末で退任しましたので、ここにお世話になった皆様にご挨拶申し上げます。理由は幹事会の若返りで、何もせんむと言われる専務理事は続けて横山理事長を補佐していきたいと思えます。また、活動参加は足手まといになります、安全な範囲で自分の体力維持程度は続けたいと思っています。若返った新体制のもと、会の益々の発展を祈念いたします。

★ ホームページがリニューアルしました ★

森ボラの会員を増やそう、そのためにはホームページを魅力あるものに変えることだ！、との掛け声で、昨年8月から鋭意検討を重ねた結果、この4月1日にホームページのリニューアルが完了しました。

新しいホームページのコンセプトは、①森ボラの日々の活動が出来るだけリアルタイムで情報提供できるようにする、②興味と安心を持って入会に案内できるようにする、③データ更新が適宜できる運用体制を確立することでした。また、より見やすく親しみやすいホームページにするために、デザイン（今までのHPは表示する領域（横幅）が狭かったのをこれを広げ、文字サイズを少し大きくしました）やメニュー構成を見直し、新コンテンツ（10ページほど）も追加しました。

新しいホームページが狙い通りの効果を発揮できるかは今後の運用にかかっています。このため、森ボラ組織の広報委員会の中にHPの運用管理の専任担当を置き、データ更新・情報発信を適宜行っていく体制を整えました。皆さんからの提案や情報提供も期待しています。（文・HP管理担当）

■ トピックス

—3月冬季セミナー講演—

『揺れ動く大地—札幌は千島前弧西進の変形フロント』

3月13日の冬季セミナーは札幌エルプラザにおいて、(株)アイピー(地質情報室) 宮坂省吾博士にお出でいただき、表題の講演をしていただきました。

宮坂さんらにより『揺れ動く大地 - プレートと北海道』(北海道新聞社)が出版されたところでしたので、その内容を含めての講演でした。

1. 北海道はどこから来たのか？

北海道南西部は白亜紀～1500万年前にアジア大陸東縁から日本海が拡大する形で現在の位置に移動しました。北米・ユーラシアの両プレートの収束により、サハリン・北海道右横ずれ衝突帯やシベリア左横ずれ衝突帯ができ、「羽交い絞め」にされて南東に押し出されて出来ました。

2. 北海道は何者か？

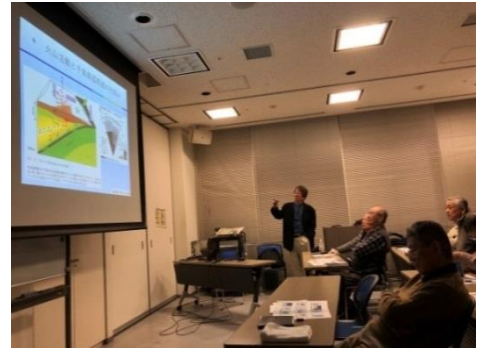
サハリンから北海道にかけては、数百kmから千kmを超える長さのサハリン・北海道右横ずれ断層があります。1995年5月に起きたマグニチュード7.5のネフチェゴルスク地震は、この断層の北部で起こりました。北海道はオホーツクプレートとアムールプレートの境界付近に位置し活動的な断層の近くであると言えます。

3. 北海道はどこへ行くのか？

千島前弧スリバー(細長い地殻)が西に移動し、千島火山フロントに沿う右横ずれ運動が起こり、知床半島・国後島・択捉島・ウルップ島の雁行配列が形成されました。また、前弧スリバーの西端部は逆断層によって隆起し、白糠丘陵・豊頃丘陵や日高山脈を形成しました。千島前弧衝突の最前線は馬追丘陵西端の活断層です。胆振東部地震はこの変形フロントで発生したと見られ、東上りの逆断層と推定されています。

4. 切迫している超巨大地震

札幌市の地下には直下型地震を引き起こす活断層があり、今後これらの活断層による地震が発生する可能性があります。(推定最大震度は7)。日頃から家庭内の地震防災対策が被害を最小限にします。難しい内容も多かったですが、以上が講演の概要です。宮坂さんにはお忙しい中最新の知見に基づくお話をありがとうございました。(文・樞棒)



■ 活動報告

◆ 森の“春の恵” 樹液を味わい、マイリーフを作り、修了式を行う

～2018年度親子森林教室・森しり隊の第7回活動報告～

第7回親子森林教室は3月24日(日)に隊員8名、保護者など6名、協会員16名の総勢30名の参加で開催されました。前日までの春の気配は一転し雪の積もる寒さとなりましたが、活動が始まるころには青空が広がり新雪に春の日差しが注ぐ良いお天気に恵まれました。

午前中の活動は樹液採取です。大窪さんから樹液採取の説明を聞きました。葉で作られた養分を根へ運ぶ師管と根から葉へ水分や養分を運ぶ導管からなる形成層へ届くように電動ドリルで穴を開け樹液を採り、採取後は同じ種類の木で作った栓で穴をふさぐ作業を見ました。イタヤカエデやシラカンバに穴を開けましたが、残念ながら気温が低く樹液が溢れるようには出ません。それでも

滲み出た樹液を指ですくったり、穴に突っ込んだ指をなめたり、口をつけて吸ったりと嬉しそうに春を味わいました。十分の一に煮詰めたイタヤカエデの樹液も飲んで甘みを確かめました。



イタヤカエデの木から樹液を採取する

次は保養センター駒岡でマイリーフ作りをしました。西野（澄）さんに作り方を聞き、6, 7, 10月にとって押し花にした葉っぱをラミネートフィルムで挟み、ラミネート加工機でシールしました。出来上がったお気に入りマイリーフを持って一人ずつ写真撮影し、出来映えを報告し合いました。



午後からは修了式です。最初は三橋さんの解説で一年間の活動スライドを観ました。みんなが生き生きとした顔で登場し、懐かしい活動の様子が映し出されました。酒井さんは「春夏秋冬森の中で過ごした一日一日はこれからの長い人生の中で必ずや思い出すことでしょう」と挨拶しました。続いて、前もって書いた感想文を子供たちや保護者の方々が読んでくれました。子供たちの感想

では木を伐る、ドングリそろばんなどの木工、キノコの植菌など体を使った経験が楽しく、発見や驚きもあり、印象に残ったようです。各活動についての説明も予想以上に理解し覚えているようでした。保護者からは子供の森や自然に対する興味や知識が膨らんだ、貴重な体験ができたなど感謝の言葉を頂きました。樞棒さんは森を五感で体験することが大切、西（弘）さんは距離を置いて子供たちのやることを見守ったとの感想が寄せられました。清澤さんが一年の活動の総括をし、皆がクマゲラの食痕を見たヤマナラシの木（残念ながら昨年台風で倒れてしまいました）で作った修了証が酒井さんから手渡されました。最後に全員で記念撮影をして終了しました。皆さんの協力を得て2018年度の森しり隊活動が無事終了出来ました。有難うございました。

(文・佐野)

◆ 冬季整理伐が終了

平成31年1月から3月にかけて、澄川都市環境林のB-3区、E-5区において倒木、傾斜木、枯損木等の整理伐を行いました。

整理伐対象の樹木は事前に調査して印をつけてあります。それぞれの地区で、初めに小径木を手鋸で伐採し、中大径木はチェーンソーを使って伐採します。木々が繁茂しているところでは伐採した木が掛かり木になることがありロープで引いたり、チルホールで牽引して倒します。

伐採した木の一部は、2m程に玉切し、ホダ木、薪、杭等に使うため軽トラックで搬送できる場所まで人力で運びます。人力で運べない重い丸太は、この後ウインチを使って搬送します。

1月：7日間、延べ91人、2月：8日間、延べ87人、3月：5日間、延べ61人（3ヶ月で20日間、延べ239人）になりました。新しい試みとして、伐採チーム（4～5人）毎に安全管理者を置いて安全確保に努めました。今年も事故が無く無事に終わることができました。（文・矢野）



◆ 新入会員紹介 松浦 優子さん 札幌市中央区 趣味：山歩き・畑作業

■ 今月の幹事会

出席者：市山・大窪・荻田・樫棒・加藤・清澤・佐野・釣井・西野(悌)・三橋・矢澤・矢野

1. 2019年度年間活動計画の一部修正
2. 2019年5月、6月スケジュール(5月幹事会5月3日(金))
3. 親子森林教室:2018年度第7回報告、2019年度第1回および第2回のスケジュール
4. 森林・山林多面関係:平成30年度報告の了解、平成31年度の採択限度額の通知。
5. 2019年度活動執行体制
6. 報告 ・ 3/8 「石狩森林管理署ボランティア活動連絡会」:樫棒、清澤、大窪参加
 ・3月末 ホダ木準備・冬季整理伐終了
7. 各専門委員会報告 ・ボラ通担当について
 ・ホームページのリニューアルが終了
 ・申請関係:マテック社、ローソン
8. 現場対応他 ・4/24 澄川南小4年(72名)キノコ植菌、仮伏せ
 ・5/17 澄川南小3年(62名)マイツリー予定地にて自然観察会⇒5/20に変更
9. その他 ・総会:5月9日(木)15:30 札幌エルプラザ 2F 環境研修室1,2
 ・支笏湖活動予定:全8回、15日間を計画
 ・2019年3月会計報告

■ 活動履歴

月日	行事・活動地	参加数	活動内容
3月16日(土)	澄川	10	E-7区ツル切り
3月18日(月)	澄川	16	E-7区ツル切り、E-8区整理伐
3月22日(金)	澄川	10	E-5区整理伐、樹液採取
3月24日(日)	澄川	17	第7回親子森林教室、修了式(駒岡保養センター)
3月26日(火)	澄川	8	E-8区整理伐、ホダ木準備
3月28日(木)	澄川	11	E-8区整理伐、ホダ木準備
4月1日(月)	澄川	10	E-8区整理伐、親子森林教室コウモリ観察下見
4月3日(水)	澄川	11	E-5区集材
4月5日(金)	ラルズ生活研究C	12	幹事会
4月7日(日)	札幌エルプラザ	11	第1回親子森林教室・開校式
4月10日(水)	澄川	15	E-5区集材、第2回親子森林教室準備
4月13日(土)	澄川	10	E-5区集材、トイレ補修